

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
平成31年4月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕4月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス21 ～前月比マイナス1ポイントで横ばい～
- ◆ 非製造業が牽引し、売上高、販売価格、収益状況D I 値が改善

〔Ⅱ〕4月の概況

当月の景況動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転1、悪化22で、D I 値はマイナス21となり、前月のD I 値マイナス20に対し、1ポイントの悪化となった。

業種別の景況動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス27となり、前月比2ポイントの悪化、非製造業のD I 値はマイナス15となり、前月比±0ポイントの横ばいとなった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業において菓子、製麺、金型の3業種(前月比±0業種)であり、悪化したとする業種は、メンズアパレル、陶磁器(工業)、タイル、鋳物の4業種(前月比+1業種)となった。

また、非製造業において改善したとする業種は、長良川畔旅館、下呂温泉旅館、貸植木業の3業種(前月比±0業種)であり、悪化したとする業種は、電設資材卸、大垣市商店街、広告美術の3業種(前月比+1業種)となった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス16で前月比3ポイントの改善、販売価格D I 値は±0で前月比7ポイントの改善、収益状況D I 値はマイナス25で前月比6ポイントの改善、資金繰りD I 値はマイナス12で前月比マイナス2ポイントの悪化、雇用人員D I 値は±0で前月比2ポイントの改善となった。

コメントを見ると、製造業では、「10連休の間の商品供給を連休前に行ったため、売上が増えた。(菓子)」、「刃物製造メーカー国内向け、輸出向け共に売上・収益共にやや増加状況。一部の製品、特に包丁、ポケットナイフ等の付加価値の高いものが人気。(刃物等金属製品(内需))」などプラスの内容が報告された一方で、「補修改修工事の案件が散見されるものの、注文残高を見ると各社かなり厳しい業況となっている。特にモザイクタイルの見込みが昨年にも増して低調。(タイル)」などマイナスの内容が報告された。

非製造業では、「4月は県と市議会議員選挙により、動きがあり売上の的には前年を上回った。(生花販売)」、「景況の方は、昨年比で少し改善したと思われる。相変わらず好調なインバウンドの影響が感じられる。(高山市商店街)」、「10連休、改元需要もあり、インバウンドのマイナス分をカバーして微増という結果となった。(長良川畔旅館)」などプラスの内容が報告された一方で、「4月末から連休前の輸送量増加は、4月20日頃からはじまり、車両確保困難な状況になった。原油価格高騰、円安、元売り各社の値上げから、前年より3%~4%ほど軽油価格が上昇。乗務員不足への対応の人員費負担も重なり、経営を圧迫する。(貨物運送(岐阜地区))」など収益状況の悪化を伝える内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加15、減少31でD I値はマイナス16となり、前月のマイナス19に対し、3ポイントの改善となった。

売上高が増加した業種は11業種（前月比±0業種）あり、製造業では菓子、縫製（既製服）、東濃ひのき、機械すき和紙、電設資材卸、機械・工具販売、中古自動車販売、生花販売、理容・美容業、土木（岐阜地区）、土木（飛騨地区）である。

売上高が減少した業種は22業種（前月比-2業種）あり、特に木材・木製品、商店街、運輸業の区分が多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇11、低下11でD I値は±0となり、前月のマイナス7に対し、7ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は8業種（前月比+3業種）あり、製造業では牛乳、食肉（国産）、特殊紙、陶磁器（工業）、窯業原料、非製造業では水産物商業、石油製品販売、生花販売である。

販売価格が低下した業種は8業種（前月比-2業種）であった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転2、悪化27でD I値はマイナス25となり、前月のマイナス31に対し、6ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は2業種（前月比+1業種）あり、非製造業の機械・工具販売、生花販売である。

収益状況が悪化した業種は19業種（前月比-4業種）であり、特に繊維・同製品、木材・木製品、商店街の区分が多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転0、悪化12でD I値はマイナス12となり、前月のマイナス12に対し、2ポイントの悪化となった。

資金繰りが好転した業種は0業種（前月比-1業種）であった。

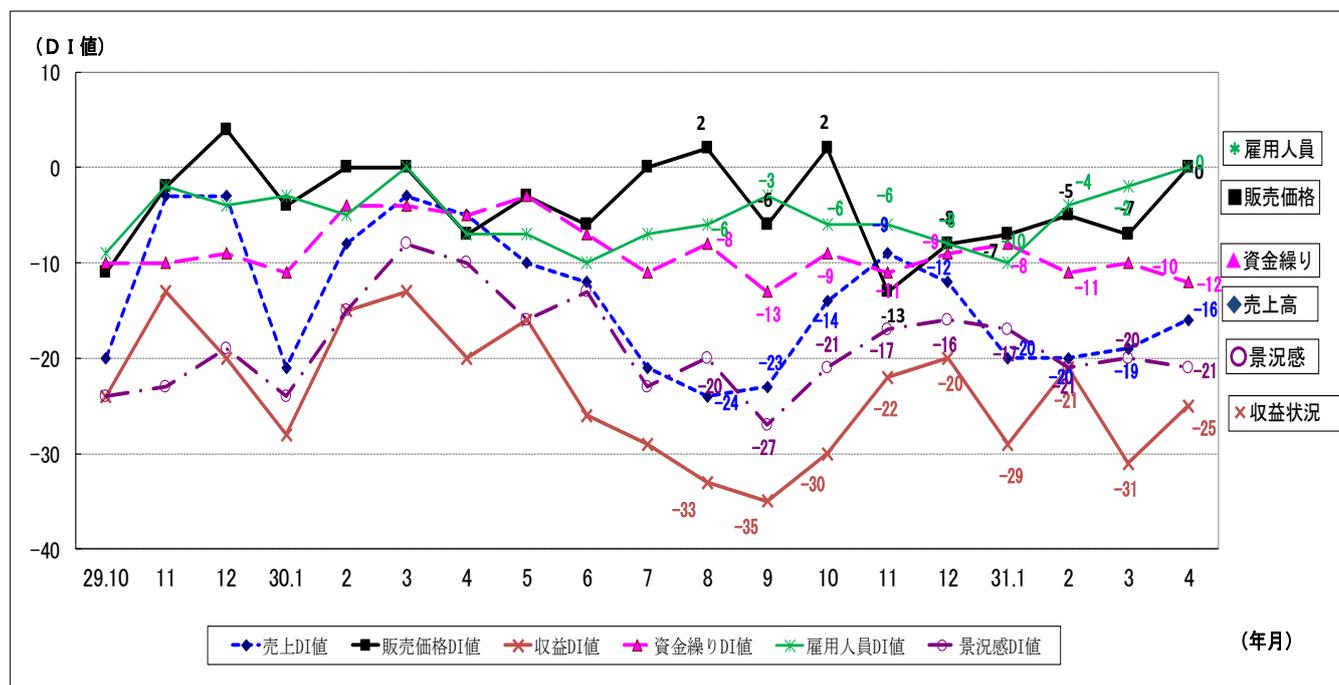
資金繰りが悪化した業種は9業種（前月比+1業種）であった。

雇用人員の動向は、前年同月比で好転12、悪化12でD I値は±0となり、前月のマイナス2に対し、2ポイントの改善となった。

雇用人員が増加した業種は9業種（前月比+3業種）あり、製造業の菓子、米菓、製麺、縫製（既製服）、機械すき和紙、刃物等金属製品（内需）、メッキ、可児工業団地、非製造業では機械・工具販売である。

雇用人員が減少した業種は9業種（前月比+2業種）であった。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (4月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	○	△	△	△	△
	食肉(国産)	△	○	▲	▲	△	△
	菓子	○	△	△	△	○	△
	米菓	△	△	△	△	○	△
	製麺	△	△	▲	▲	○	△
繊維・同製品	撚糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業	△	△	▲	△	△	△
	毛織物	△	△	△	△	△	△
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	▲	△	▲	△	△	▲
	婦人・子供服	▲	▲	▲	▲	△	▲
	縫製(既製服)	○	△	▲	△	○	△
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△
	家具	▲	△	▲	△	△	▲
	東濃ひのき	○	△	△	△	△	△
紙・紙加工品	機械すき和紙	○	△	△	△	○	△
	特殊紙	▲	○	△	△	△	△
	紙加工品	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	△	△	▲	△	△	▲
化学ゴム	プラスチック	▲	△	△	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	○	△	△	△	▲
	タイル	▲	△	▲	△	△	▲
	窯業原料	△	○	△	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砂利生産	△	△	△	△	△	△
	砕石生産	△	△	△	△	△	△
	鋳物	△	△	△	△	△	▲
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	○	△
一般機械	メッキ	▲	△	△	△	○	△
	県金属工業団地	▲	△	△	△	▲	▲
	可児工業団地	△	△	△	△	○	▲
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	△	△	△	△	△	△

凡例
 ○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	○	△	△	△	△	△
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	▲	▲	▲
	機械・工具販売	○	▲	○	△	○	○
小売業	青果販売	△	△	△	△	△	△
	水産物商業	△	○	△	△	△	△
	家電機器販売	△	△	△	△	△	△
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	○	▲	△	△	▲	△
	石油製品販売	▲	○	△	△	▲	△
	共同店舗(飛騨)	▲	△	▲	△	△	△
	生花販売	○	○	○	△	▲	△
商店街	商店街(岐阜)	▲	△	▲	△	△	▲
	商店街(大垣)	▲	▲	▲	▲	△	▲
	商店街(高山)	△	△	△	△	△	△
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲
	長良川畔旅館	△	△	△	▲	▲	△
	下呂温泉旅館	△	△	△	△	△	△
	高山旅館	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	▲	△	▲	△	△	△
	広告美術	△	▲	▲	▲	△	▲
	旅行業	△	△	△	△	△	△
	理容・美容業	○	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	○	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	○	△	△	△	▲	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物	△	△	△	△	△	△
	電気工事	▲	△	△	△	▲	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	△	△	△	△	△	△
	木造建築	△	△	△	△	△	△
運輸業	貨物運送(県域)	▲	△	▲	△	▲	△
	軽運送	▲	△	△	△	△	△
その他の非製造業	貸植木業	▲	△	△	▲	△	△

凡例

○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

県内中小企業の景況動向グラフ(前年同月比)
(平成29年5月～平成31年4月)



(DI 値)

